

## 津波避難場所にキーボックスを設置しました

町は、津波の緊急避難場所として小中学校を指定しており、夜間や休日など、学校が閉まっている時間帯に津波警報等が発表された場合、鍵保管者に指定されている役場職員が各学校に駆けつけて校舎の鍵を開け、避難者を屋上に誘導することとしてきました。

しかしながら、その指定された職員自身が被災する可能性もゼロではなく、発災後の混乱の中での実行性には様々な懸念がありました。  
(実際、能登半島地震では、担当職員の到着が遅れたため避難者がガラスを割って館内に避難した事例が複数確認されています。)

その問題を解消するため、各学校の校舎入口にキーボックスを設置して、緊急時、確実に避難者に鍵が交付できるよう改善を図りました。

### キーボックスの概要

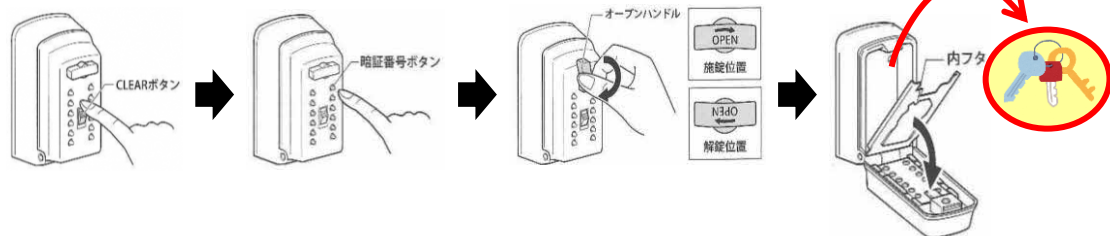
設置したのはナンバー式のキーボックスで、その中に避難に必要な校舎や防災倉庫などの鍵が収納してあります。  
操作要領は図のとおりです。

クリアボタン  
を下げる

暗証番号ボタン  
を押す

オープンハンドル  
を回す

中から鍵を  
取り出す

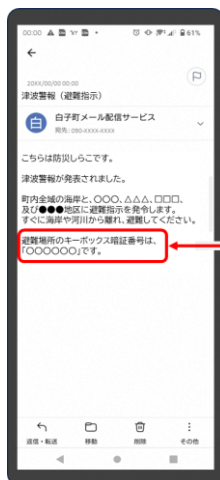


### キーボックスの暗証番号の伝達要領

防犯及び児童・生徒の安全のため、普段はキーボックスの暗証番号を公表せず、津波警報・大津波警報が発表された時に避難指示の伝達文でお伝えします。

避難指示は防災行政無線で放送するとともに、同じ内容を緊急速報メール、白子町メール配信サービス、防災LINE、白子町防災X及びFacebookにより配信します。

緊急時、暗証番号を文字で確認できるように、上記配信手段のいずれかを登録しておくことをお勧めします。



暗証番号はこの部分に記載してあります。

(白子町配信メールのイメージ)

## キーボックスの設置場所

各学校の校舎又は屋上避難階段の入口に設置してあります。  
詳しい設置場所は、下の要図を参照してください。



## その他

緊急時に町からの災害情報を確実に受信できるよう、各種配信手段への登録をお勧めします。

それぞれの登録方法は、下のQRコードからご確認ください。

白子町配信メール



防災LINE



白子町防災X

